

養成医かわら版

NEWSLETTER



赤穂御崎の桜 2025/4/9

自己紹介

氏名：楠原達樹（くすはら たつき）

勤務先：赤穂市民病院

診療科：外科

卒後：8年目

【経歴】

2018年3月 神戸大学卒業

- ・初期研修：西脇市立西脇病院
- ・前期派遣（特定診療科：外科）

1年目：西脇市立西脇病院

2年目：兵庫県立淡路医療センター

3年目：兵庫県立丹波医療センター

- ・後期研修：神戸大学医学部附属病院 肝胆膵外科医員
（同大学院に社会人大学院生として入学）
- ・後期派遣：1年目 赤穂市民病院 現職

【8年間を振り返って】

癌治療に興味があり、腫瘍内科と悩みましたが、手術に魅力を感じ最終的に外科を選択しました。上記の病院で外科研修を行い、コロナ禍の影響もありましたが、丁寧なご指導のもとで専門医取得に必要な経験を十分に積むことができました。養成医として非常に恵まれた環境で成長させていただけたと思います。

後期研修では社会人大学院生として神戸大学に戻りました。食道胃腸外科と肝胆膵外科を病棟医としてローテーションしつつ、地域では経験できなかった手術を学びました。大学院生としては「肝細胞癌に対する手術を主とした治療選択に関する研究」を行い、論文執筆に注力しました。養成医は他の院生とは異なり、後期派遣の2年間である程度研究を仕上げなければなりません（一般的な大学院生期間は博士課程4年）。なんとか後期研修中に論文がacceptされ、早期卒業要件を満たし、今年度末に学位を授与され、卒業できる見込みです。ただこの成果は私の努力というよりは恵まれたデータベースと諸先生方のご指導の賜物と感じております。

後期派遣中の現在も、臨床の合間に3つの論文を同時並行で執筆しています。データ解析のためのコーディングや統計解析への理解などなど、臨床現場のみでは得難いスキルも身につくつつあり、非常に有意義な日々を過ごしております。

義務年限も早いもので残すところ1年となりました。義務年限後にやりたいことを模索しつつ、日々研鑽を積みたいと思います。